

会 議 録

名 称		酒田市子ども・子育て会議（令和6年度第1回）
内 容		○副会長の選出 ○協議 （1）子ども・子育て支援事業計画令和5年度実施状況について （2）こども計画の策定について ○報告 （1）令和5年度幼保小連携事業の実施状況について （2）子どもの遊び場の開設について ほか
日時・場所		令和6年8月16日（金曜）午前10時～11時55分 酒田市総合文化センター412 特別研修室
出席者	委 員	佐藤 真紀委員、佐々木 由子委員、梅津 満希子委員、池田 祐子委員、 齊藤 公乃委員、佐藤 多紀子委員、宮田 浩一委員、五十嵐 勤委員、 鈴木 久美子委員、佐藤 由夏委員、白畑 真由美委員
	事務局	高橋 紀幸健康福祉部長、遠藤 理恵教育委員会学校教育課指導主事、村上 環保 育こども園課長、阿部 美穂こども未来課長 ほか
会議の結果		別紙のとおり
配付資料		・ 次第 ・ 出欠席名簿 ・ 資料1 子ども・子育て支援事業計画令和5年度実施状況まとめ ・ 資料1 別紙 子ども・子育て支援事業計画令和5年度実施状況 ・ 資料2 こども計画の策定について ・ 資料3 こども大綱（こども家庭庁説明資料抜粋） ・ 資料4 自治体こども計画策定のためのガイドライン（概要版） ・ 資料5 こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン＜概要版＞ ・ 資料6 こども計画等に記載等が必要な事項について ・ 資料7 令和6年度地方財政計画の概要（抜粋） ・ 資料8 令和5年度幼保小連携事業の実施状況について ・ 資料9 子どもの遊び場の開設について ・ 酒田市子ども・子育て会議条例

酒田市子ども・子育て会議（令和6年度第1回）

日時：令和6年8月16日（金曜）

午前10時～11時55分

場所：酒田市総合文化センター

412 特別会議室

～ 1 開 会 ～

○こども未来課土門課長補佐

本日はお忙しい中、ご出席ありがとうございます。暫時の間進行を務めさせていただきます、こども未来課の土門と申します。よろしくお願いいたします。最初に、今日ご欠席の方をご報告申し上げます。酒田市PTA連合会 丸藤学様、若浜保育園保護者会 佐藤卓様、酒田地区私立幼稚園・認定こども園PTA連合会 岸田孝之様、酒田特別支援学校PTA 高橋幸宏様、酒田市民生委員児童委員協議会連合会 加藤武雄様、酒田地区医師会十全堂 大滝晋介様、酒田商工会議所女性会 伊藤直子様、一般社団法人酒田青年会議所 高橋靖様、連合山形酒田飽海地域協議会 鈴木渉様、以上9名の委員の皆様から欠席のご連絡をいただいております。本日委員20名中11名の出席をいただいております。今回の会議開催にあたりましては、酒田市子ども・子育て会議条例7条2項に、定足数が定められておりまして、半分以上の出席がなければ会議を開くことができないとされております。本日は、半分以上のご出席でございますので、会議の成立をご報告申し上げます。ではこれより、令和6年度第1回酒田市子ども・子育て会議を開催いたします。次第に従いまして進めさせていただきます。健康福祉部長より、最初にご挨拶申し上げます。

～ 2 健康福祉部長あいさつ ～

○高橋健康福祉部長

本日はお忙しい中また暑い中お集まりをいただきまして、どうもありがとうございます。今回の会議、7月25日の大雨災害もありまして、1回延期させていただいた経過がございます。関係各位の皆様におかれましては、様々なところで被災もしくはその対応の関係でお忙しいと思っております。今回欠席された委員の方々も多分そういう部分もあったのかなと思っております。ただ、この子ども・子育て会議につきましても、やはりどうしてもやらないといけない部分もございます。そして後で説明もあると思っておりますけれども、新しい計画の策定等もございますので、まず委員の皆さんから集まっていただきまして、ご意見をいただきたく今回開催させていただいております。この子ども・子育て会議ですけれども、豊かな子育て環境と子どもの幸せの実現に向けて、子ども・子育て支援事業計画の

策定、それから進捗状況の点検評価、また保育施設の利用定員などについて、委員の皆様からご意見等をいただいているところでございます。現在の計画が、今年度で一旦終了することになります。令和7年度以降、新しい計画で動くわけですが、その計画について現在策定をしているところ、皆様からご意見をいただければと思っているところでございます。昨年こども家庭庁が発足したことに伴いまして、こども基本法というものが施行されました。さらにその後、年末に決定されましたこども大綱におきまして、こどもや若者の健やかな成長への支援、そして少子化対策、こどもの貧困対策など幅広いこども政策に関する基本的な方針、それから重要事項が一元化されております。私たち地方自治体におきましては、関連する計画を一体的に作成しまして、こども施策全体に横串を通すこと、また住民にとってわかりやすい計画とすることなどが期待されているところでございます。本市としまして、その方針に従いまして、この度の第3期となります子ども・子育て支援事業計画の策定にあわせまして、関連する計画を1つにまとめたこども計画として策定したいと考えているところでございます。今年1月から6月までの半年間の出生数が178人にとどまっております。少子化が続く中ではありますけれども、こどもや若者、そして子育てしているすべての人が豊かに、そして安心して暮らせるこどもまんなか社会の実現を目指す計画について、皆様と一緒に作っていききたいと考えております。本日の会議におきまして、ぜひ率直な忌憚ないご意見を皆様からいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

～ 3 自己紹介、副会長の選出 ～

○こども未来課土門課長補佐

(配付資料について確認)

○委員及び事務局

(自己紹介)

○こども未来課土門課長補佐

続いて、副会長の選出に移らせていただきます。酒田市子ども・子育て会議条例第6条第1項におきまして、子ども・子育て会議に会長及び副会長を1人置き、委員の互選によりこれを決めるとしております。これまで副会長を務めていただいております、酒田市小学校長会 齋藤雄一委員が交代されまして、副会長が不在になっておりますので、本日副会長の選出をいただきたいと思います。互選でございます。どなたか、推薦等ございませんでしょうか。

(推薦なし)

○こども未来課土門課長補佐

特になければ、事務局案がございます。こちらの方をご提案させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○こども未来課土門課長補佐

異議なしのご発声がございました。事務局案として、学校運営におきまして子どもや保護者の事情に詳しい、酒田市小学校長会 鈴木久美子委員を新たに副会長にお願いしたいと考えております。以上ご提案させていただきます。賛成の方、挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

○こども未来課土門課長補佐

挙手多数でございます。では、副会長を鈴木久美子委員にお願いしたいと思います。それでは、改めて副会長からご挨拶を賜りたいと思います。

○鈴木久美子副会長

初めてで、分からないことの方が多いと思いますが、皆様のお力をお借りしながら、そして、会長をサポートできるように力を尽くして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○こども未来課土門課長補佐

では、次第を進めて参ります。これより協議でございます。協議は、議事進行を白畑会長に引き継ぎたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

～ 4 協 議 ～

○白畑真由美会長

改めまして、白畑でございます。暫時の間進行を務めさせていただきます。議事進行にご協力くださいますとともに、忌憚のないご意見、ご質問をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めていきます。まず、(1) 子ども・子育て支援事業計画令和5年度実施状況について、資料1により事務局から説明をお願いいたします。

○こども未来課佐藤子育て支援主査兼子育て支援係長

(資料1により説明)

○白畑真由美会長

大変多岐にわたる計画に対しての事業実施状況になりますが、何かご質問などございますでしょうか。皆様いかがでしょうか。

では私から口火を。一つだけですが、資料（1別紙）6ページの事業ナンバー43「地域の実情を踏まえ、放課後子供教室の設置について検討します。」は取り組みなしで終了となっているのですが、学童保育所の状況について、定員を超えていることは、梅津さんより前回の会議でお話があったと思います。子どもの居場所というのがすごく社会的にも必要とされている社会情勢かなと考えたときに、やはり地域の中にこういう居場所があってもいいのかなと思って、学生といろんな文献調査をしているんですけども、これについて何かお考えなどございましたら、担当課がいないかもしれませんが、可能な範囲で願います。

○村上保育こども園課長

43 番に書いてある放課後子供教室ですけども、こちらについては、文科省部門の事業になりますので、主な実施主体として社会教育課となっています。学童保育所については、あくまでも保育の延長線上にあるということで、これは厚労省管轄、こども家庭庁管轄の事業ということになります。社会教育課で放課後子供教室をやっていた時期、試行としてやっていた時期もございましたが定着までには至っておりません。これについては、学校の校舎内で事業を実施するというような課題もあります。あとは地域の大人がどのぐらい関わっていけるかという地域力の関係もございます。ただ、いい事例としてご紹介させていただければ、五十嵐委員がいらっしゃる松陵コミセンでは、小学校4年生以上を対象にして、保護者の同意を得て、放課後に子どもたちが松陵コミュニティセンターに集まってきます。私もその時間帯コミセンにお邪魔したことがあります。ただいまと言って入ってくる学童と同じような雰囲気で開催されています。平日、様々なメニューがあって、遊びの日だったり、勉強の日というようなものがありました。小学校4年生という枠を設けた意図については、はっきりは分かりませんが、学童保育所の方がやはり溢れてしまうこと、4年生以上については、どんどん自分たちで遊べる力がついてくるというようなことで、また地域の方にもぜひ入ってもらいたいという両者の思いがマッチしたケースなのかなと思っております。松陵地域の方々も、自分が活躍していた現役世代のときの仕事を基盤にして、勉強を教えてくれたり、遊びを教えてくれたりというようなところが、好事例かと思います。4年生以下の子であっても、きょうだいがいるということで下の学年の子も入れるケースもあります。同様のことが、他の地域でもやりたいということで、浜田コミ振で松陵コミ振に見学に行かれたというお話も聞いておりますので、こういったことが、放課後子供教室という名前ではないかもしれませんが、地域と子どもの繋がり、地域で子どもを育てるという流れになると素晴らしいのかなと思っています。

○白畑真由美会長

枠組みや仕組みを活用することで、経費的な部分が補填されるということもあると思いますが、地域の力を借りてということで、すばらしい取り組みかなと思っております。そういう形で、先ほどの自己紹介のところで皆さんがおっしゃられたように、子どもたちが

酒田に戻ってきて酒田で暮らしたい、子どもを育てたいと思える土台づくりの部分が、この地域との繋がりのできるのではないかなと思ったので、質問させていただきました。

ほかに皆さん、ご質問等ございませんか。後から事務局にお尋ねいただく形でもよろしいですかね。皆さんないようでしたら、次に進めさせていただきます。では次第の（２）こども計画の策定についてということで、資料２から７について事務局より説明をお願いします。

○こども未来課佐藤子育て支援主査兼子育て支援係長

（資料２～７により説明）

○白畑真由美会長

次期計画について、名称を変えてこども計画という名称で、幅広い今まで以上に広がりを持たせた内容にしていきたいというようなご説明だったかと思います。スケジュール感ですとか、体制なども含めて説明がありましたが、このことに対して、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

皆さんが考えていただいている間、オンラインアンケートは目標数としてどのくらいの目標を見込んでいらっしゃいますか。何か予定がありましたら、なければ結構です。

○阿部こども未来課長

オンラインアンケートは、今ちょうど児童手当の制度が変わるタイミングでございまして、そちらのご案内と一緒に、オンラインアンケートへの協力をお願いする紙を一緒に入れさせていただこうと思っております。対象として、児童手当の受給者の数が 8,000 人程ということなので、その世帯の方に送らせていただくこととしております。目標数は定められておりませんが、なるべく多くの方々から回答いただけるように、機会をとらえていきたいと思っています。

○白畑真由美会長

それに合わせて、子ども対象の部分は、どの入り口から調査をされる予定でしょうか。

○阿部こども未来課長

子ども対象につきましては、まだこれから教育委員会と打ち合わせ等することにはなりますけれども、タブレット端末を通してのアンケート等を含めて、子どもから意見を頂戴したいと考えています。

○白畑真由美会長

本日参加されている様々な立場の方々のご意見をこの会議で伺えると思いますし、それぞれの母体の団体からも、意見を持ってきていただけると思うんですけれども、様々な支援機関の皆様のご意見というのは、この会議の中で集約するという考え方でよろしかったでしょうか。

○阿部こども未来課長

基本的にはそのようにさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○白畑真由美会長

ということであれば、それぞれの推薦団体の皆様のご意見を伺っていただきながら、そのご意見をこの会議の中で、ご発言をいただきながら、計画に反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○宮田浩一委員

このすすくプランの27ページに、施策の方向性3子どもを取り巻く有害環境対策の推進ということで、取り組みの状況成果課題が載っておりますけれども、私共がやっています市民会議、あと指導センターが載っております。また、実際に子どもを対象にして、家庭生活、学校生活を営んでいる市のPTA連合会という大きな組織がございます。併せて、母親委員会という組織もございます。コロナの状況で学校ではタブレット端末を使って、コロナが解消になっても、それを子どもたちとの連絡その他学習等でタブレットを有効に活用しておりますけれども、実際には家庭に持ち帰ってゲームをやったりする子どもも大分いると、ある校長先生からも実態を聞いておりまして、その場合には全部情報がピックアップされるので、その都度注意しているという話も聞いておりました。今現在実際に、ゲーム、インターネット等々でいろいろ新聞に被害状況なんか載っております、日本経済新聞には1カ月で子どもが100万円使った、そういう請求が勝手に来て親がびっくりしているというような、実際に親も知らないような家庭内生活が営まれているという現状なわけです。酒田ではそんな例はないとは思いますが、いつ同じような状況が酒田で起こる可能性も十分にあるわけでございます。したがって、この有害対策推進の中に、市のPTA連合会と母親委員会の活動状況、いろんな問題点をピックアップいただきまして、それに対してどう対応するのか、どう対応しているのか、その辺の課題なんかも取り上げていただければ組織としては生きてくると思いますので、提案させていただきます。

○白畑真由美会長

委員からありました、子どもを取り巻く有害環境対策の推進というところでは、先ほど報告のあった資料1別紙の29ページに、それぞれの課で取り組んでいることが書かれてはいますが、今ご発言のあった母親委員会等の活動は入っていないようですが、これについて何か事務局からございますか。

○阿部こども未来課長

新しい計画を作る際に、いろいろな団体等で取り組まれていることについても、幅広くご意見をお聞きして状況もお聞きながら、計画に盛り込んでいけたらと考えております。

○佐藤真紀委員

計画策定の体制の部分で、市民ワークショップというものがあるかと思うんですが、これは今決まっているか分からないですけど、具体的にどういったことをされる予定なのか。あと、どうやって周知をする予定なのかというところを教えてください。

○白畑真由美会長

10月に予定されているワークショップについて、現時点の案でいかがでしょうか。

○阿部こども未来課長

2回から3回のワークショップを開催させていただきたいと考えておりまして、そのワークショップにご参加いただく方につきましては、こちらの子ども・子育て会議の委員の皆様にもご案内させていただき、あと、市の広報やホームページでも公募させていただいて呼びかける形、あと子どもにも参加させていただきたいと考えておりますので、そちらの方にも呼びかけながら、多くの方々から参加していただければと考えております。基本的には、方向性に関してのご意見等をいただくようなワークショップになろうかと思います。

○白畑真由美会長

そのほかございませんか。また後程思いついたようなことがあったら、その他のところでもご意見をいただければと思います。計画の概要、体制、スケジュール感については、この場で概ねご理解をいただいたということで進めさせていただいてよろしいでしょうか。この流れで進めさせていただくということで、こども計画作成のため本年度は例年よりも会議の開催が多くなって、皆さんにご負担をおかけすることになるかもしれませんが、よりよい計画のためにご理解とご協力をいただければ思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは協議の（3）その他ということで、何か委員の皆様からこの場で協議したいことなどありましたらご発言をお願いしたいと思います。特にないようですか。

では、ほかに質問や意見がないようでしたら、次に進ませていただきたいと思います。次第の報告（1）令和5年度幼保小連携事業の実施状況についてということで、資料8により、事務局から説明をお願いいたします。

○村上保育こども園課長

（資料8により説明）

○白畑真由美会長

計画にも位置付けが出ている具体的な取り組みについて、改めてご報告をいただいたことになりますが、保育園の先生方の現場ですとか、学校の先生の立場で現場の意見として何かございましたら、あと皆様から何かご質問ございましたら、お聞かせいただければと思います。

○梅津満希子委員

この幼保小の取り組みを初めて知ったので、大変素晴らしいなと思うのですが、学童保育も毎年1年生が入ってきて、最初は分からないことも多く、同様の情報を少しでも学童保育にも共有していただけたら、何か生活しづらくしているお子さんもその情報を得たことで、職員もそういう対応ができれば少しでも楽になるというか、生活しやすくなるのではと思いました。この取り組みのような会議等に出席するのは働く時間帯の都合上無理だとは思っているのですが、何かこの情報の一つでもというところで、今後いただくことが可能であれば大変ありがたいと思いました。

○村上保育こども園課長

実は、梅津委員とも以前この話をされていて、幼保小連携もそうなんだけれども、学童と小学校の連携が必要ですよという話は実際にしております。なかなか個人情報という言葉で阻まれるところが多く、同じ敷地内に学童保育所と学校があるんですけども、保護者としてはそこが連携されていると思いがちなんですが、実は全く連携はされていない。壁がある。学校と指導員の努力の中で、その壁を少しずつ取り払っている学校もあります。ただ、それがなされないという現場ももちろん声が聞こえているので、そこに少し行政の力で何とか橋渡しができないかなとは思っております。小学校と保育園、認定こども園の橋渡しだけではなくて、子ども目線で考えると、そういった橋渡しも必要だということで、今後検討させていただきます。

○白畑真由美会長

そのほかこの件に関して何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

では次の報告に移らせていただきます。(2) 子どもの遊び場の開設についてということで、資料9により事務局よりご説明をお願いいたします。

○村上保育こども園課長

(資料9により説明)

○白畑真由美会長

初めての取り組みということで、こちらの総合文化センター体育館を使った遊び場の開設ということでした。このことについて、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

○佐藤多紀子委員

この遊び場の開設のお話を酒田市のラインか何かで拝見させていただいたんですけども、その時は逆になぜ今までここの開放がなかったんだというぐらい、とてもいい取り組みだなと思っていました。それで、実際にこっと広場に遊びに来るお母さんで行かれた方がいらっしゃって、やはりとてもよかったって言ってすごく喜んだ声を聞かせていただいたりしました。質問は、受け付けをシルバー人材センターさんにご依頼されているということでしたけれども、この遊び場の中にはそういった大人の配置というのがあるのか。あ

とはその体育館ということで、いろいろなゾーンを設置していらっしゃるんですけれども、その中で子ども同士のトラブルだったりけがだったりっていうのがなかったのかをお聞かせいただければと思います。

○村上保育こども園課長

大人の見守りは、シルバー人材センターも中の方で受け付けをしております。体育室はエアコンが効くんですが、ご存じの通り文化センターの廊下についてはエアコンが効かないものですから、シルバー人材センターお1人で受け付けをして中も見ながらというようなところなんです。あと保護者がついて来ているというところで、特段その監視というような方はいないということになります。中にある公園というようなイメージをしておりますので、そういった人数をかけないで開放するというような視点になろうかと思います。あと、けがだとかトラブルについては、心配はしておりましたが、私どもの携帯電話に何かあれば連絡をということで連絡先をお伝えしているんですが、1度もその携帯電話が鳴ったことはございませんので、今まで平日も含めてトラブルはなかったということです。ただ、その開催日ではないときに、文化センターの窓口に今日はやってないんですかというようなお客様がいらっしゃったとか、探しているような親子がいたので、エレベーターのところに今日はお休みですよというような張り紙を社会教育課で対応してくれたと聞いております。

○佐藤多紀子委員

昨日、酒田市のラインでこの遊び場の名称が決まったということを拝見したんですけれども、先ほど冬も実施予定ということでしたが、名前も決まりましたし、今後も継続的にこの事業をしていくということによろしかったでしょうか。

○村上保育こども園課長

冬場も考えてはおりますが、今この夏休みの期間1カ月間を試行的に行ったところですので、今後継続するかは、また協議をして決めていきたいと思っております。また、この体育室ですけれども、エアコンが効いていて使えるということで、むしろPRしてしまったかなというところもあって、スポ少だとかそういった方々も使いたいという声が出ています。冬場は冬場で、社会教育事業で、餅つき大会だったり書き初め大会を実施する場所でもあるので、こちらでも、そういった市の事業と一緒に開催できればいいのかなと思っておりますが、協議はこれからということになります。

○鈴木久美子委員

非常にありがたい取り組みだなと思って、その感謝の気持ちを伝えたいと思い発言します。といいますのは、今学校がちょうど夏休みの期間です。以前ですと、私たちの子どもの頃ですと、夏休み中のプール開放がございました。でも、コロナ禍の以前に、もうすでに暑さがとんでもなくって、プールだということで学校に行く間に何かあったらとか、それから暑過ぎて入れないという場合もございました。ですので、今プール開放はしており

ません。一学期でプールも終わってしまいます。ですので、やはりこの夏休みの暑い時期に、遊び場を子どもたちも親御さんも求めているのではないかと考えています。本校で、この夏休み中に図書館の開放を2回したんですけれども、先ほど少人数だとは言いましたが、かなりの割合で学校に本を借りに来ておりました。やってよかったなあという話を校内でしていたんですけれども、やはりその場を求めているんだということが今のお話からもわかって、非常にありがたいなと思ったところです。先ほど宮田さんからもお話がありましたけれども、七・八年ぐらい前でしょうか、そのぐらい前から子どもたちが夏休みに限らず、放課後に遊ぶときに、何時に公園でとかでなくて、じゃ5時ねっていうようなことを言っていて、それは何かというと、オンライン上で遊びの約束をしているんですね。最初にそれを聞いたときは本当にびっくりしました。でも、それが今や普通です。都会の話ではなくて、酒田の子どもたちも本当にこう直に遊ぶという機会も減っていると思うので、このプロジェクトマッピングもそれにボールを加えて、ちょっと体を使った遊びを組み合わせるという点も、非常にありがたいなと思いました。

○宮田浩一委員

お金をかけない、ある施設を利用して行く、すばらしい企画と思って私も個人的に感謝しております。それで、酒田市子連としては、いろんな手づくり遊びのメニューを持っております。ですから、私もちょっと忙しくて現場の状況まだ見れないんですけれども、見た段階でいろいろとまた提案したいなと考えていますが、例えばこの前、夏休みに入ってからリーダー研修会をやらせていただきました。ただやはり、ご家庭や子どもが忙しか分かりますが、出席率が年々低くなってきているんですね。これは、残念な我々の責任だなと思っておりますけれども、いろんなメニューを持っておりますので、それをいくつかの大きな紙に書いて、例えばいろんな材料を私どもで用意して、それで子どもたちが親と一緒にその遊びを作ってやる、そういうことを前々から考えておりましたので、また改めてご相談したいと考えております。それと、フリスビーを使った遊びもありますが、あれは確かプラスチックですよ。（「ソフトなものです」と応答あり）私どもにも30センチぐらいの直径で、高さ5センチぐらいのスポンジのドッジビーってあるんです。多少私の家に余っていますので、もし必要であればプレゼントしますから有効活用していただきたいと考えております。あと、先ほど質問がありましたけれども、やはり夏場はクーラーがついていますから皆さん来るだろうと思いますけれども、四季に応じてやっていただけるかどうか先ほどご検討していただくとのことでしたので、願わくば施設の空いているところを有効活用していただいて、このセンターの活用をもっともっとやっていただくと同時に、下の資料館、名前が変わりましたが、あそこにもまた親子と一緒に散策していただいて、酒田の歴史とか酒田を築き上げた人の流れとか、そういったところまでつなげていただければ、もっと素晴らしい企画になるんじゃないかと思いますので、ご検討をお願いします。

○白畑真由美会長

鈴木委員、宮田委員からは、感謝の気持ちとご意見ということで承りました。この件に

ついて、皆様あつよろしいでしょうか。

○佐藤真紀委員

意見というか、要望になるかと思うんですけども、私たちの団体で発達障がいのある子どもたちのことを話しているときに、やはりこの遊び場で遊ばせたいっていうお父さんお母さんはいらっしゃいます。今インクルーシブという、共生するというのはすごくあるんですが、障がいのある子を連れて遊びに行きたいけれども、ちょっと敷居が高いというところがあって、子どもたちそのプロジェクトマップとかに行ったら喜ぶだろうなという話はすごく聞くんですけども、もし今後こういった事業を継続するということがあれば、やはりその障がいのある子たちも暑い中外で遊ぶのが大変というところもあって、こういった冷房が効いているところで伸び伸び遊べるというところはすごく使わせていただけたらありがたいので、可能であれば例えば1日だけでも、そういった特別支援学校に通っているお子さんとか支援級に通っているお子さんを対象にした開放日みたいなものを作っていただけると、皆さん参加したいなという方は多いと思いますので、ご検討いただければありがたいなと思います。

○村上保育こども園課長

検討させていただきます。ご意見ありがとうございます。

○白畑真由美会長

ほかの皆様、大丈夫でしょうか。これまでの議事の中で言い残したこと、これだけは言っておきたいこと、確認しておきたいということ、何かございませんでしょうか。

○宮田浩一委員

私と隣の五十嵐さんは酒田市青少年市民会議の会長副会長をコンビでやっております。今年の総会で了解をもらいまして、このようなポスターを作りました。本来であればこういうポスターは県で作らなくちゃならないんですけど、県も会員が減少しておりなかなかできないということで、5年がかりで県の方に文句つけたんですけども全然駄目なものですから、今年酒田市民会議で何とか予算をゲットして200枚作りました。この前、いじめ防止の標語で小中学校を回ったときに学校に3部ずつ配りました。それと、高校、特別支援学校にみんな配りまして、やはりなんと言っても家庭が一番だろうということで、第3日曜日は家庭の日、この第3にこだわらないで、家庭の日で家族みんな仲良く食事をしながらいろんなお話をしてくださいというようなことをやっております。来年は、今度は地域のおじさんおばさん運動のポスターを作って、今年配った隣に貼っていただく、そういう形で市民会議のPRも兼ねて、これからもやる予定です。ちなみにこの前、教育長にお邪魔したときに、教育長室に貼ってくださいということで1部置いてきました。あとは、本庁にもぜひ張っていただければありがたいなと思っていますので、ご活用をお願いします。

○白畑真由美会長

次に、事務局からお願いいたします。

○村上保育こども園課長

先ほど冒頭でも触れましたが、八幡保育園の保育継続についてご報告申し上げます。資料はございませんので口頭のみとなりますが、先日の25日、荒瀬川が越水したことによって、八幡保育園の園庭から園舎、上流側の園舎は床上浸水、下流側の園舎については一部床下浸水をしたところがございます。その時点で上水道も断水をしておりました。今現時点は、使えるようにはなっているところです。ただ、保育をどうするかということ等については、まだ結論は出ていないところではあります。当日ですけれども、八幡総合支所から、そろそろもう避難をするべきだという指示がございまして、園で持っているバスがありましたので、園児40数名をバスに乗せて、先生たちが八幡総合支所に避難をさせております。その間先生たちも避難をして、園舎は空の状態でございました。また、園には八幡子育て支援センターもございますので、子育て支援センターの方も一緒に避難をしております。乗用車等も全部動かした後に越水をしましたので、特段の被害は園舎だけということになっております。越水というと、イメージでは水が流れてきたというようなイメージなのですが、実際には泥流、泥水が流れてきております。園庭にはフェンスもございましたが、フェンスも押しつぶされ、園庭にあった象のすべり台もどこかに行ってしまっておりました。あと、泥水ですので、園庭は芝でしたけれども、芝の上にも泥が残っている、流木が残っている、また駐車場にも大分層の厚い泥水が溜まったというような状況がございました。25日は木曜日でしたけれども、26日は休園しまして、27日土曜日にも休園をいたしました。29日からの保育をどうにかして、緊急避難的にでも実施しないと、保護者の支援にも繋がらないということで、松山保育園を間借りしまして保育を続けていて、本日に至っております。松山保育園の方でも、ものすごく広いというわけではなくて、2つの学年を1つにまとめて、松山と八幡は交わらない、八幡保育園は八幡保育園、松山保育は松山保育園の保育を行っておりますが、少しスペースの狭いところで保育を続けているということになっております。今後どうするかというと、建物を復旧するしない、またあの場所でもいいのかというような議論が必要になりますので、これは酒田市が行政として決めていくことと思っておりますが、仮に復旧したとしても4、5カ月かかることになりますので、子どもたちの保育を松山でこのまま続けられるか、またそれを望まない保護者の声も少しずつ聞こえてきておりますので、こういったことについては、保護者に現状を報告するのを今月中にはやりたいなと思っております。その後、その建物をどうするかというのは後日の話にはなりますが、場合によっては周辺の法人保育園さんに転園をお願いするというようなケースも出てくるのかなと思っております。また、八幡保育園を今後どうするかということについては、またこの子ども・子育て会議でも、協議なりご報告なりということが必要かと思っておりますので、タイミングを見てご相談させていただきますので、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

○白畑真由美会長

適切な対応をしていただきましたことを本当に感謝申し上げたいと思います。私も8月は8日、9日の2日間、社協のボランティアセンターでボランティアということで地域のニーズ把握に回らせていただいたときに、テレビでは映らない、地域の状況、惨状を目の当たりにしました。この辺ではもう全然普通の生活をしているけれども、避難所にいる方お1人お1人の声を聞いたりすると、本当につらい思いをされているというのが、すごく伝わってきましたし、見たことのない風景を見て、何ができるかというのをすごく悩みながら、2日間ボランティアをさせていただきました。八幡だけでなく、松山地域でも内水氾濫のあった地域にニーズ把握ということで回ったんですけれども、そこも同じように、床上浸水40センチというご家庭もありましたが、フェーズが変わるごとに支援のニーズは多分変わってくるんだろうなと思うと、この子どもたち、松山保育園の子どもたちも八幡保育園の子どもたちも両方の子どもたちそれぞれの保護者が安心して子育てを継続できるような環境整備をぜひ早急に進めていただきたいし、何よりも情報がないというのが保護者にとってはとても辛いことかなと思うので、早め早めの情報提供をお願いできればなと思いました。感想を含めてです。対応ありがとうございました。

その他、皆さんからないようであれば、事務局に進行をお返ししたいと思います。議事進行にご協力をいただきまして、どうもありがとうございました。

～ 6 その他 ～

○こども未来課土門課長補佐

会長からは、4番の協議、それから5番の報告の議事進行をいただきました。次に6番でございます。その他として、事務局から2点ご案内申し上げます。第1点、次回の会議についてでございます。会議につきましては現在10月開催を予定しております。開催時期等詳細が決まりましたら、文書でご案内差し上げます。ご出席方お繰り合わせの上お願いいたします。次に本日、民間からお出でいただいている皆様には、報酬並びに旅費をお支払いいたします。該当する方には、小さい封筒に内訳書を入れてお配りしてございます。およそ3週間でご指定の口座へお振り込みいたしますので、そのタイミングでご確認いただきますようお願いいたします。以上、事務局からのご案内でございました。ご案内等に関しまして、ほかに何かございますでしょうか。

～ 7 閉会 ～

○こども未来課課長補佐

これで本日の会議を終了させていただきます。本日は長時間にわたりましてご意見交換ありがとうございました。令和6年度第1回子ども・子育て会議をこれにて閉会させていただきます。